

市の宣言

非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

第1279号

町田市環境基本条例が 制定されました

21世紀の環境を守ろう

7月1日
施行

環境問題は今地球規模の懸案事項となっています。その原因は現代社会での生活スタイルそのものにあるといわれ、事業活動や日常生活における環境の保全、回復及び創造に向けた取り組みが、国際的にも求められています。市でも、昨年の7月に町田市環境基本条例案検討委員会から答申された「町田市環境基本条例(案)」を7月に検討を重ね、平成12年度第4回市議会定例会において、町田市環境基本条例と、町田市環境審議会条例が全会一致で可決され、7月1日から施行されることとなりました。



「環境配慮」の1つに自然を大切にすることが挙げられています

町田市環境基本条例

環境権

条例の前文において、「健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要とする、良好な環境を享受する権利」を「環境権」と定義しました。同時に、良好な環境は、すべての者による保全、回復及び創造の努力によって初めて享受されるものであって、将来の世代も享受する権利があることとしています。

目的・基本理念・責務

環境基本条例は、将来にわたって良好な環境と環境権が確保されるよう、すべての人が公平に環境の保全、回復及び創造に向けて取り組むこととしています。したがって、市、事業者、市民のほか、在勤者や在学者、来訪者などにも市との関わり方に応じた責務を定めています。

環境配慮

すべての人々によって環境の保全等に向けた取り組みが推進されるよう、「自然を大切にすること」、「みを減らすこと」、「資源及びエネルギーを大切にすること」、「環境に優しい製品やサービスを選ぶこと」など、規範となる具体的な行動を環境配慮として定めました。また、市民には

環境基本計画

環境基本計画

環境の保全等に向けた市の施策を総合的かつ計画的に推進するために、環境基本計画を策定し、施策の大綱や長期的な目標を定めます。また、事業者や市民による取り組みを推進するために、それぞれの役割に応じた環境行動指針も策定します。

環境パートナーシップ

市、事業者、市民が、環境の保全等のために相互に促し、励まし、支え合うことを環境パートナーシップとして定義しました。

環境学習や情報提供、他の地域との協力などについてより効果的な推進を目指して、環境パートナーシップによって積極的に推進していきます。

町田市環境審議会条例

町田市環境審議会を設置することを定めた条例です。環境審議会は、町田市が環境基本計画や環境行動指針その他の重要な環境施策を策定するにあたって、市長が意見を求めるための付属機関として設置するものです。委員は、学識者、市民、事業者によ

よって構成されます。

今後の取り組み

市では今後、環境基本計画をより所として、環境基本計画や環境行動指針など、環境の保全等に向けた総合的な取り組みを推進する計画を策定していきます。

傍聴できます

市では、現在、環境基本計画の策定に向けて、市民と市の職員で構成する「環境基本計画専門部会」を設置し、①自然環境検討部会②生活環境検討部会③ごみ対策検討部会④循環型社会検討部会の4部会に分かれて原案の作成作業を進めています。

販売しています

環境基本計画の策定に向け、市職員によって構成する町田市環境課題プロジェクトチームが、環境の現状と施策の推進に当たっての課題を「町田市における環境課題について」としてまとめました。この報告書は、次の窓口で販売しています。

- 販売窓口：市政情報・やまびこ(中町分庁舎)階)
- 販売価格：1部300円
- 環境保全課 724・2711

祝新成人 はたちのつどい

1月8日、心配された前日からの雪もやみ、恒例の「はたちのつどい」が南成瀬の総合体育館で行われ、21世紀最初の新成人の門出を祝いました。降り積もった雪のため、足もとが悪い中にもかかわらず、当日は、2250人の若人たちが出席。「おもいで広場」では中学時代の恩師や懐かしい友人との笑顔の輪がいくつも出ていました。



語るら新成人

防災の決意も新たに 消防団出初め式

新春恒例の町田市消防団出初め式が1月14日に町田一小の校庭で行われました。当日は大勢の市民が見守る中、制服制帽の団員が堂々たる入場行進を披露。寺田市長、消防署長、団長らによる観閲の後、消防少年団の演技、玉川大学吹奏楽団の演奏、東京都消



観閲を受ける団員たち